

2024年 3月 第140号

産業文化通信

J C I 産業文化協同組合 技能実習生受入事業部発行

東京都千代田区神田鍛冶町 3-6-7 6階

電話：03-3525-4838



春なお浅く、朝夕はまだまだ冷え込む昨今ですが、組合員のみなさまにおかれましては、益々ご健勝の事と存じます。今年の冬は雪が少なかったものの、先月の6日には東京23区平地でも大雪となり積雪がみられました。私達日本人にとっては、交通機関の麻痺など悩ましいものですが、昨年春以降に入国した実習生達にとっては初めて見る雪となり、大喜びの様子とのお話を頂きました。寒い中雪だるまを作ったり、雪合戦をしたりと子供のようにはしゃいでいたと微笑ましい様子を教えて頂きました。

外国人労働者が過去最多に

日本で働く外国人労働者が約204万人となり、初めて200万人を超え、これまでで最も多くなった事が厚生労働省のまとめで分かりました。これによりますと、外国人労働者は204万8675人で、前年と比べて22万人あまり、率にして12.4%の増加、2013年から11年連続で過去最多を更新しました。要因としまして、コロナ禍からの経済活動の回復や国内の人手不足が背景と分析しております。

(ご参考：現在、長野県の人口は200万4785人、群馬県の人口は190万840人です。)

■国籍別では

- 1位 ベトナム 51万8364人
- 2位 中国 39万7918人
- 3位 フィリピン 22万6846人



■前年からの増加率

- 1位 インドネシア 56%
- 2位 ミャンマー 49%
- 3位 ネパール 23.2%



■在留資格別

- 1位 日系人や日本人の配偶者 61万5934人
- 2位 技術職・研究者など 59万5904人
- 3位 **技能実習 41万2501人**



■産業別

- 1位 製造業 55万2399人
- 2位 サービス業 32万755人
- 3位 卸売業、小売業 26万3555人

国内の日本人の人口は年間80万人以上減少しており、ロボットやAIの活用も進んではおりますが、人材を十分に補えるところまでは達しておらず、労働者の確保があらゆる産業で問題化しております。外国人労働者に頼らざるをえないということが200万人という数字に現れているのではないかと感じます。